

海洋底探査センター研究支援基金 趣意書

私たちが暮らす日本列島は地球上で最も火山が密集する地帯です。風光明媚な景観、温泉、それに食べ物など、火山は私たちに素晴らしい恵みを与えてくれます。その一方で、「火山大国の民」は火山災害に悩まされ続けてきました。中でも縄文人以降は、運よく遭遇してこなかっただけの「巨大カルデラ噴火」は、今後 100 年間に約 1 %の確率で発生し、ひとたび起きれば日本中が破局的的な状況に陥ります。しかし現状では、このような膨大なマグマが地下に潜んでいるのかどうかも分かっていません。

神戸大学海洋底探査センター (KOBEC) では、2017 年から巨大カルデラ火山の地下を可視化してマグマの動きを捉えるという、世界初の挑戦を始めました。そのターゲットは、九州南方海域の「鬼界海底カルデラ」です。このような探査は人工地震などを使うために陸上では実施が困難であること、この火山が日本列島で一番直近 (7300 年前) に巨大カルデラ噴火を起こしているからです。

また、火山の噴火を予測するには、それぞれの「患者さん (火山)」に寄り添ってその状態をきめ細やかに見守る「ホームドクター」の存在が必要不可欠です。そのためには、現状では圧倒的に不足している火山研究者を育ててゆかねばなりません。KOBEC では、研究活動に加えて、海域・陸域の火山における実習を学外の学生や若手研究者を対象に実施しています。

みなさまからのご支援は、このような研究活動や若手人材育成のためなどに大切にさせていただきます。

どうか、みなさまのあたたかいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成30年4月 吉日

神戸大学 海洋底探査センター長 巽 好幸